

人文社会学部 人間文化学科

教育方法と教育の特色ある工夫

本学の各学科・コースは、教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー、以下 CP）に基づき、それぞれの特色を活かした教育方法による授業を行っています。さらに、資格取得科目の充実を図るなど、教育内容の向上に取り組んでいます。また、大学全体として、全学部生が共通して履修する必修科目、「フレッシュセミナー」「アドバンスセミナー」においては、少人数教育を実践しています。セミナー担当教員は、各学部・学科・コースの CP に基づく学修指導の他、学生生活全般にわたる指導を行っています。これにより学生は、社会人として求められる常識や教養等の汎用的能力と、各自の専攻分野や関心領域に関わる幅広い知識をバランス良く身につけることができます。「セミナー」では、キャリア教育の一環として学生の様々な相談にも応じています。加えて 2021 年度入学生より、3 コースの開講科目を積極的に履修しやすくし、知識や教養をより幅広く身につけ、人の暮らし、社会について横断的に学修することができるよう、「人間文化専門基礎科目」という区分も設けました。

【教育方法】

基礎的な価値観、知識や技術、感性、表現力及び柔軟性、適応力、コミュニケーション能力などについて、段階を追って身につけられるよう授業科目を配置し、それらを土台として、学生が関心を抱く福祉・メディア文化・グローバルコミュニケーションの各領域に関する知識・教養、関連する資格取得のための専門的な知識・技能が習得できるよう授業を展開しています。資格取得に関わる各種の現場実習については、事前指導、事後指導の充実を図っています。

【教育の特色ある工夫】

福祉コース

- ・ 4 年間で社会福祉・精神保健福祉の価値・理論・技術を体系的に学べるように講義と演習・実習科目を各学年に配置しています。
- ・ 1 年次では、施設見学・ボランティア体験を課題とし、更に様々な福祉の現場で活躍する社会福祉士・精神保健福祉士等の外部講師による特別講義等で福祉の学修への動機づけを図っています。
- ・ また福祉に関する入門科目やソーシャルワークの基本となる考え方を学修し、1 年次の終盤、「福祉施設実習」を通して一人ひとりの学修ニーズと適性を把握し、2 年次以降の専門分野実習につながるよう個人指導に力を入れています。
- ・ 2 年次より専門分野の学修を深め、実践能力の向上を図り、社会福祉士資格及び精神保健福祉士資格の取得と将来の就労に向けた「ソーシャルワーク実習」を行っている。実習後は、グループスーパービジョン、報告書の作成及び報告会を通して実習の教育効果の向上に努めています。
- ・ 社会福祉士及び精神保健福祉士国家試験受験希望学生には教員が作成した教材による学修支援を行っています。

- ・ 福祉の理念・価値を深く理解できるよう、4年間を通してボランティア活動を奨励しています。
- ・ 日本ソーシャルワーク教育学校連盟認定のスクールソーシャルワーク教育課程を課程開始当初の2009年度より実施しており、ジェネリックな社会福祉士及び精神保健福祉士養成の他にスペシフィックな技能を持つソーシャルワーカー養成のための講座も開設しています。

メディア文化コース

- ・ 人間のあらゆる活動を「コミュニケーション」として幅広く捉えたうえで、コミュニケーションを媒介するメディア全般について、映像、アート、デザイン、デジタル情報、言語表象に至るまで幅広い領域を専門的に学び、それらの特質を理解できるよう、演習を中心としたカリキュラムを構築しています。
- ・ 1年次では、造形基礎演習・デジタルデザイン基礎演習を通して実際にメディアに触れ、ことば・音声・色・形から映像・ソフトウェアまで、さまざまな素材や道具を用いて、アイデアを形にし、制作物を完成させる演習を行っています。こうした演習を通じて「ものづくり」のプロセスを体験し、クリエイティブな現場に主体的に関わる素地を培います。
- ・ 2年次以降はグラフィックデザイン、造形デザイン、映像デザイン、情報デザインの四つの演習を柱として、基礎から応用へとスキルアップしていき、それぞれの領域をより専門的に学ぶことのできるカリキュラムを設置しています。一方で、多様化・複雑化するメディア文化領域にかかわる学生に必要な幅広い教養、メディア・リテラシーを身につけるための講義科目を多数開講し、作り手側・発信者側の視点のあり方を学びます。
- ・ 3・4年次の人間文化演習・卒業論文では、それぞれの専門領域をもつ教員の指導のもと、自ら企画・制作・執筆を行うなかで、学内外のプロジェクトにも積極的に参加するほか、発表会・講評会でプレゼンテーションを行うなど、4年間の集大成となるカリキュラムを構成しています。

グローバルコミュニケーションコース

- ・ グローバルな舞台での活躍に不可欠な幅広い知識と深い洞察力、語学を中心としたコミュニケーション力を養うことを基本方針としたカリキュラムを編成しています。
- ・ カリキュラムは3つを軸とする①自分自身の属する文化とその特徴を学ぶこと②言語や歴史、思想、政治、経済など文化を形成する様々な要素について広く考察し、家族単位から世界の国・地域にわたる文化の違いやその背景を理解すること③実質的な世界語である英語に加えて、第二外国語としてフランス語、ドイツ語、中国語を履修することでコミュニケーション能力の向上を目指すこと。
- ・ 1年次と2年次に、英語圏出身の教員による英語での授業を設定し、大学生としてのエッセンススキルを身につけると同時に、早い段階から英語に対する感覚を磨きます。
- ・ 2年次、3年次*には、半年間の留学制度を利用して、帝京大学グループダラムキャンパス（英国北部のダラム市）で本場の英語と文化に触れることができます。また、春休みを利用した3週間程度のロンドン短期留学プログラム（「ホリデー留学」）も設定されています。（*留学制度は1～4年生が対象。本コースでは2年次または3年次での参加を推奨。）
- ・ 3年次、4年次には、グローバルな社会人としての教養やITスキル、またそれらを用いた課題分析力や発信力を強化し、身につけた力を実践の場で活かす学修をします。